

# ろくおん通信

第11号 1987.7.10発行  
盲人情報文化センター  
録音製作係

## ハムスター

村井 晶人

私の長男（11才）は動物が好きで、ために現在わが家にはカメ、めだか、ハムスター、南米産のえびなど扶養家族が多い。その総数は不明。

い話には涙する子である。やや気の短いところもあるが根は優しい子なのだろう。

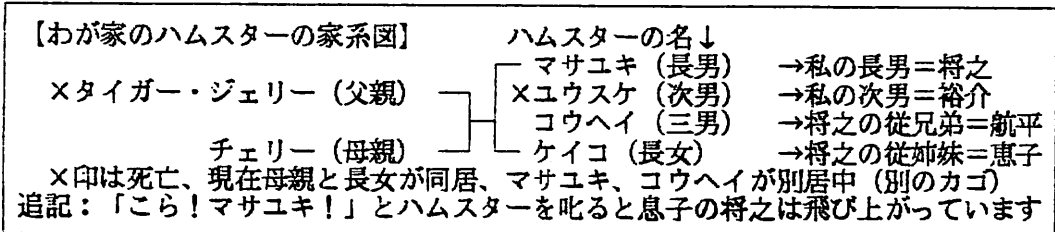
一方、私の方は子どもの涙するところを見て、ひやかすのが楽しいと思っている悪い親である。

昨年ハムスターのつがいを買って、生まれた子どもはおおよそ30数匹。しかし、現在は親も含めて4匹しか残っていない。狭いカゴにいられていると共食いをするとか。



父親であるタイガー・ジェリーがマサユキ、ユウスケ、コウヘイの3匹に食べられてしまった。その一週間後にはユウスケも……。マサユキとコウヘイの2匹になって、それまでの喧嘩をびったりやめてしまった（狭い7階、みんな仲良く、楽しくやりましょう!）。

親がその子を食べている光景にショックを受けて「ペットショップに返しにゆく」と泣いた長男である。テレビを見ても悲し



\* イラストは点訳講習会受講中の武部はつ子さんをお願いして書いていただいたものです。

## 医学用語について (その8)

重村 敏夫

(ファミリー) 家族

ラテン語

### 2. 発音 (つづき)

ī→amīca (アミーカ) 女友達  
medicīna

(メディキナー) 医学

ō→homō (ホモ) 人間、男

→sol (ソール) 太陽

ū→lūna (ルーナ) 月

cūra (クーラ) 治療

y→hymnus

(ヒュムヌス) 賛美歌

ȳ→pȳthagorās

(ピュータゴラス) 人名

### (2) 重母音 (一息に発音する)

ae→aethēr

(アエテール) エーテル

→Caesar

(カエサル) シーザー

oe→amoeba

(アモエバ) アメーバ

au→audio

(オーディオ) 聞く

ei→hei (ハイ) ああ

eu→Europa (エウローパ)

ui→huic (フイク) これに

### (3) 子音

b→Brūtus

(ブルートゥス) 人名

c→Cicerō (キケロー) 人名

d→dolor (ドル) 苦痛

f→familia

g→gigantēs

(ギガンテース) 巨人族

h→historia (ヒストリア)  
歴史

j→Japonia (ヤポニア) 日本

k→kōma (コーマ) 昏睡

l→lux (ルクス) 光

m→mare (マレ) 海

n→nōmen (ノメン) 名

p→poēma (ポエマ) 詩

q→liquor (リクウォール) 液

r→rēgula (レーグラ) 定規

s→sēnsus (センスス) 感覚

t→taberna

(タベルナ) 飲食店

v→virus (ウィールス)

x→Xerxēs (クセルクセース)

z→zona (ゾーナ)

ch, ph, rh, th

hがないものと同じ発音。但しphは  
(f)と発音しても良い。

ch→schola (スコラ) 学校

ph→philosophia (ピロ  
ソ피아、フィロソフィア) 哲学

rh→rhythmus

(リュトゥムス) リズム

th→theātrum

(テアートゥルム) 劇場

### (3) 音節の切り方

①二ケの母音または重母音の間にある子音は後の母音につく。

pleu-ra (プレウラ) 肋膜

②語頭にある子音は次の母音につく。

spe-ci-ēs

(スペキエース) 種類

③二ケの母音または重母音の間に二ケ以上の子音がある場合は、最初の子音は前の母音に、後の子音は後の母音につく。

hos-pi-tā-le

(ホスピターレ) 病院

④一ケの子音の後ろにおかれた“l”または“r”はその子音と共に発音されるから分離しない。

bi-bli-o-thē-ca

(ビブリオテーカ) 図書館

Ti-gris (ティグリス)

但し“ll”と“rr”は③のルールによる。

col-lum (コルルム) 頸

fer-rum (フェルルム) 鉄

⑤合成語は合成部分で分かれる。

trāns-fōrmō

(トランス、フォーム) 変形する

⑥ch, ph, rh, th, qu,

su, guは一ケの子音とする。

#### (4) アクセント

ラテン語のアクセントは、英語のような強弱のアクセントではなく音の高低によるアクセントである。日本語のアクセントと同質とみても良い。

①一音節の語では、その音節にアクセントがある。

②二音節の語では、第一音節にある。

ā-cta (アークタ) 行為

cháf-ta (カルタ) 手紙

③三音節以上の語では、後から二番目の音節が長い場合はそこに、短いときは、後から三番目の音節にある。

hū-mā-nus

(ヒューマヌス) 人間らしい

Brí-tan-nia

(ブリタンニア) 英国

(この章終わり)

※ 都合によりこのシリーズはしばらくお休みさせていただきます。

#### お知らせ

◎スタジオの閉鎖

8月5日(水)は7階整理のため録音スタジオを閉鎖させていただきます。

◎8月の音訳技術研究会(月例)の日程

水曜会…8月19日 13:30~16:30

火曜会…8月25日 13:30~16:30

当日使用のテキストは司馬遼太郎の『市民と独語』(歴史と小説より)でスタジオ横のロッカーにあります。

◆お願い

スタジオの空調の調整は個々の部屋ではできません。暑いと感じられる方、寒いと感じられる方と個人差が非常に大きいようです。申し訳ありませんが、寒いと感じられる方はカーディガンなどを一枚お持ちください。

## ☆編集技術集中講座を終えて

7月7日から一週間にわたって編集の集中講座を行いました。初日は人数が多く、当初予定していた会場を急遽変更したほどでした。

結果、職員の編集技術の指導の不手際もあり、より良いマスター作りのために今後も継続して、個別のケアをしてゆく必要性を感じました。

また、編集以前の段階に、音訳、校正の部分があるため、読みの正誤の部分も含め、各々の連絡の行き違いから、音訳者と編集者あるいは音訳者と校正者との間の感情的なもつれも生じているようです。視覚障害者のための録音図書作り、という同一の目標のもとに活動をしているボランティア同士の間でうまくコミュニケーションが取れないのは非常に残念です。今後の大きな課題として考えてゆきたいと思っています。

(村井)

## ☆録音研究会(月例)の報告

7月15日第1回家庭録音の研究会を行ない、8グループ36人余りの参加がありました。この研究会の目的は、

- ①家庭における上手な録音の技術の習得
- ②音訳における「処理」の学習
- ③リクエスト図書製作を円滑にすすめることにあります。

第1回目は、リクエスト図書の録音順序・枠アナウンスの読み方、及び自動録音機の特徴、マイクの距離による音質の変化等を、サンプルテープを聞きながら学習しました。

今回は、カセットデッキ等のマニュアル録音の場合の録音の方法について、実演も

しながら勉強していく予定です。

## 【今後の日程と内容】

8月19日(水) 13:00~15:00

テーマ: ①上手な家庭録音の実際

手動録音機(カセットデッキ)の特徴

②レコーディングマニュアル「処理」の学習

③リクエスト図書の受渡し

9月16日(水) 13:00~15:00

テーマ: ①上手な家庭録音の実際

操作音を少なくする方法

訂正の方法

②例文による「処理」の学習

③リクエスト図書の受渡し

※研究会に参加される方は、必ず『レコーディング・マニュアル』をご持参ください。お持ちでない方は、3階事務所で一部1,050円(取り寄せ費用50円を含む)で販売しています。

## ☆リクエスト図書記録表記入のお願い

今後お願いしますリクエスト図書から、原本の表紙の裏側に、リクエスト図書記録表を貼付しますので、作品が完成しましたら、ご記入ください。

記入事項は、次の三点です。

①完成日

②全巻数

③時間(〇〇時間〇〇分)

また、記録表には完成予定日や「処理」に関しての事項、書名・副書名等を記入してありますので、参考にしてください。

(清水)